

会 議 録

会議名称	令和5年度 第1回大空町文化財保護審議会	
開催日時	令和6年3月25日（月）	13時30分から 14時30分まで
開催場所	女満別ゲートボールセンターITルーム	
出席者の氏名	委員出席者氏名（敬称略） 岩原繁、田中宏、児玉康弘、酒井千鶴子、佐伯行路 教育委員会 村山参事、歌丸主幹 河西主査、松本主事	
傍聴者の数	—	
会議資料の名称	○令和5年度第1回大空町文化財保護審議会 議案	
審議内容及び結果	<p>(1) 指定古木の指定解除について 事務局説明後、意見等なし。</p> <p>(2) 藻琴山ミズナラ希少個体群保護林の周知について 事務局説明後、以下のとおり意見等があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 案内看板は設置したのか？ (回答) 森林管理事務所が設置した案内看板が以前からある。</li> <li>◆ 道路入口にも分かりやすい案内看板が必要。 (回答) 案内看板設置を検討する。</li> <li>◆ ホームページの内容は非常に良いが、高齢者などはホームページをあまり見ない。郷土資料室ホームページがあることを、もっと住民へ広く周知すべき。 (回答) 広報誌などでの周知を検討する。</li> </ul>	

審議内容及び結果

(3) 女満別湿生植物群落保全対策の今後の予定について事務局説明後、以下のとおり意見等があった。

- ◆ 多くの住民は、調査を長年継続している理由が分からない。説明会を開催するか、広報誌などで周知したほうがよい。

(回答) 周知を検討する。

- ◆ 湖畔林道は路盤があまりよくないので、自動車の通行が増えると排水管が破損しやすくなる。自動車の通行を規制したほうがよい。

(回答) 以前は自動車の通行を規制していたが、利用の要望が多かったため通行可能にした経緯がある。林道管理者である産業課と対応を協議する。

(4) 大空町郷土資料室の今後の展示・保管方法について事務局説明後、以下のとおり意見等があった。

- ◆ 空いた施設を活用して郷土資料を展示するやり方では、単なる物置になってしまいやすく、施設の分散も進んでしまう。新しい展示施設には専門職を配置し、最低でも郷土資料館を目指し、できれば博物館を目指してほしい。

(回答) 今後検討する。

- ◆ 展示施設を1箇所に集約するのは良いことだが、展示品の整理も必要。展示品を入れすぎると、単なる物置になってしまう。

(回答) 今後整理を進める。

- ◆ 新施設の方向性が決まるのを待たずに集約に向けた準備を進めていくべき。また、展示資料の使用方法などについて、映像で記録を残してはどうか。

(回答) テープレコーダーなどは、長期間使用せずにいると動かなくなる。きちんと動くうちに動画で記録を残しておく必要性は高い。今後実施していきたい。

- ◆ 資料を廃棄する際は、廃棄する前に有識者に意見を伺うべき。また、郷土資料は町民から提供いただいた大事なものなので、廃棄する際には提供者の了承をもらうべき。

(回答) 廃棄する際は、そのような手順を踏まえる。

<p>審議内容及び結果</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 西女満別駅は鉄道マニアの利用が意外と多い。西女満別駅に設置したパンフが約半年で 100 枚以上持ち帰られたというのも、それだけ鉄道マニアがいることを裏付けている。観光協会とも連携すれば、相乗効果になるはず。 (回答) 観光協会などとの連携も検討する。</li><li>◆ 女満別駅にも同様のパンフを置いてはどうか。 (回答) パンフ設置を検討する。</li></ul> <p style="text-align: right;">以上</p>
-----------------	---